

第3学年 社会科学学習指導案

1 小単元名 「くらしと工場」

2 小単元の目標

地域に見られる工場の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめる。そして、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現する。それらの活動を通して、工場の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	ア 生産の仕事の種類、産地の分布、生産の工程、他地域や外国とのつながりについて、工場を見学・調査したり地図などの資料で調べたりして情報を集め、工場の仕事の様子を理解している。 イ 見学・調査したことを白地図などにまとめて、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。	ア 生産の仕事の種類、産地の分布、生産の工程、他地域や外国とのつながりに着目して問いを見だし、生産の仕事の様子について考え、表現している。 イ 調べたことを基に、生産の仕事と地域の人々との生活を関連付けて考え、白地図などにまとめたことを基に説明している。	ア 工場の生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 イ 意欲的に問題解決に取り組み、見学したり、調べたりしたことを発表資料にまとめ、地域に対する誇りや愛情をもとうとしている。

4 小単元について

(1) 指導内容

本小単元「くらしと工場」は、学習指導要領に以下のように位置付けられている。

(2) 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接なかわりをもって行われていることを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。

そこで、本小単元「くらしと工場」は、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査し、地図やタブレット端末などを活用して、白地図などにまとめ、生産に携わっている人々の仕事の様子

を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接なかかわりをもって行われていることを理解できるようにする。

(2) 創造的な資質・能力の素地を重点的に育成する単元として設定した理由

本小単元は、身近にある町工場を扱う。児童は、登下校の際や生活の中で、町工場を目にしている。しかし、なぜ、工場が多くあるのか、どんなことを行っているのか、などは、知らない児童が大半を占めている。その疑問や関心を解決するために工場見学へ伺う。その際に、必要な情報を収集したり、考えを整理したり、関わろうとする態度を身に付けたりする。これは、創造的な資質・能力の素地を重点的に育成する単元として適した教材と考える。

(3) キャリア教育とのつながりについて

本単元では、工場見学等で、多くの人と関わる機会がある。また、自らの疑問や関心を解決するための学習でもある。その中で、人間関係形成・社会形成能力や課題対応能力の育成ができると考える。

5 児童の実態

本学級の児童は、学習に意欲的に取り組むことのできる児童が多い。「くらしとお店」や「火災から人々を守る」の学習では、一人一人が見学の視点を基に、課題意識をもち積極的にメモしたり、働く方々へ質問したりして意欲的に各施設を見学することができた。そのため、多くの児童が人々の願いを踏まえて工夫していることに気付き、新聞やカードにまとめることができていた。しかしながら、人々の願いや工夫に気付かず、ただ見てきたことだけを新聞にまとめていた児童も数名見られた。そのため、本単元では、見学の視点を人物との相互関係がとらえられるようにすることで、工夫や努力に気付けるようにしたい。また、自分事として捉え、未来につなげられるように学習の見通しを明確にし、誰かに伝えたいと強く思える学習に展開する。

6 指導の手だて

(1) 創造的な資質・能力の素地を育成する視点

自分の住む地域にある工場について調べたり、工場見学を実施し、生産の仕事が地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを考えたりする活動を通して、実社会や活躍する人などとの対話を大切にし、問題の発見・解決に資する情報収集にすすんで関わろうとする態度を身に付ける。

(2) キャリア教育

工場見学や生産工程の学習を通して、工場が自分たちの生活と関わっていることに気付いている児童が多くいる。そこで、大田区の工場数の推移のグラフを用いることで、大田区の工場数が減少していることを把握させ、このままの工場数が減少してもよいのか問い、自分事として捉えられるようにする。

(3) ICT等の活用

タブレット端末を活用することで、児童の考えを見えやすくし、児童が考えを広げられるようにする。

7 指導計画

時	○主な学習活動 ★指導上の留意点	◆評価規準 【観点】(評価方法)
1	★北嵯谷の工場の分布図を見せる。 ○地域には、工場があることに気付く。 ○工場ではどのようなものが作られ、どのような工夫をして製品を作っているのか調べる意欲をもつ。 わたしたちのまちの工場では、どのような工夫をして製品を作っているのだろうか。 ★登下校の道にも数多くの町工場があることを確認する。 ★自分たちのくらす町の特性があることを意識させる。 ○学習問題をつくる。 ○予想する。学習計画を立てる。	◆地域に工場があることを知る。 【知】ア(発言・ノート) ◆工場の生産の仕事について予想し、学習計画を考えている。 【思】ア(ワークシート)
2 3	○気球製作所見学の計画 ★「くらしとお店」の学習を基に視点を考える。 ★事前に質問することを押さえる。 ○気球製作所見学 ★見学の視点を見学ノートに書かせ、目的をもって見学できるようにする。	◆工場の生産の仕事について、見学を通して学習問題を追究し、解決しようとしている。 【主】ア(発言・ワークシート)
4	○気球製作所見学で分かったことや工夫を視点ごとに分類する。 ○飯田製作所見学の計画 ★気球製作所の見学を基に、飯田製作所の見学の視点を確認する。 ★見学の中で新たな視点が出てきた場合は、視点を共有する。 ★見学を振り返り、どのような視点で見学をすればよいのか確認させる。	◆生産の仕事の様子について考え、分かったことについて自分の言葉で表現している。 【思】イ(ワークシート)
5	○飯田製作所見学 ★見学の視点を見学ノートに書かせ、目的をもって見学できるようにする。	◆工場の生産の仕事について、見学を通して学習問題を追究し、解決しようとしている。 【主】ア(発言・ワークシート)
6 7	○飯田製作所見学で分かったこと・工夫 ★分かったことや工夫を視点ごとに分類する。 ★よりよい製品を作るために工夫や努力をしていることを気付かせる。 ○働く人の工夫 ★工場見学で学んだことを基に、よりよい製品を作るための工夫や努力を理解し、働く人の思いをまとめる。 ★工場で働く人の思いを押さえる。	◆工場の仕事の様子を理解している。 【知】ア(発表・発言・ノート) ◆意欲的に見学したことを発表資料にまとめている。 【思】イ(観察・発言・紙)

8	○製品ができるまで ★工場見学で学んだことを基に、生産工程の工夫についてまとめる。 ★よりよい製品を作るための生産工程の工夫を押さえる。	◆生産の仕事の様子について考え、自分の言葉で表現している。 【思】イ (発表・発言・ノート)
9	○原材料はどこから 製品はどこへ ★原材料の入荷や製品の出荷を通して、国内外の他地域と関わり合っていることを考える。 ★交通網が分かる地図を用意することで、交通の広がり意識しながら、地域との関係を捉えられるようにする。	◆他地域や外国とのつながりに着目して問いを見だし、生産の仕事の様子について表現している。 【思】イ (発表・発言・ノート)
10	○大田区内の工場 ★写真を基に、「ものづくりのまち」大田区の特色について考える。 ★資料を基にした話合いを通して、大田区の特色に気付けるようにする。	◆生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 【知】イ (発表・発言・ノート)
11 (本時)	○大田区の実態 ○統計資料を基に「ものづくりのまち」大田区の実態について把握する。 ★統計資料を用いて大田区の工場数の減少や、諸問題について知れるようにする。 ○これまで学んだ工場の魅力の何を伝えるのか決める。 ★これまでの学習で学んだことを模造紙で掲示する ★伝える内容がより具体的になるようにする。	◆調べたことや考えたことを基に、意欲的に問題解決に取り組み、提案内容を決めようとしている。 【主】イ (観察・発言・発表資料)
総合的な学習の時間	○工場の秘密 ○これまでの学習を踏まえて、工場の工夫や努力をまとめ、発表し、北糀谷の工場の魅力を伝える。	◆得た知識や友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 【主】イ (観察・発言・発表資料)

8 本時の指導（全 11 時間中の第 11 時）

（1）目標

くらしと工場で学んだ大田区の工場の魅力の中で何を伝えるのか決めることができる。

（2）展開

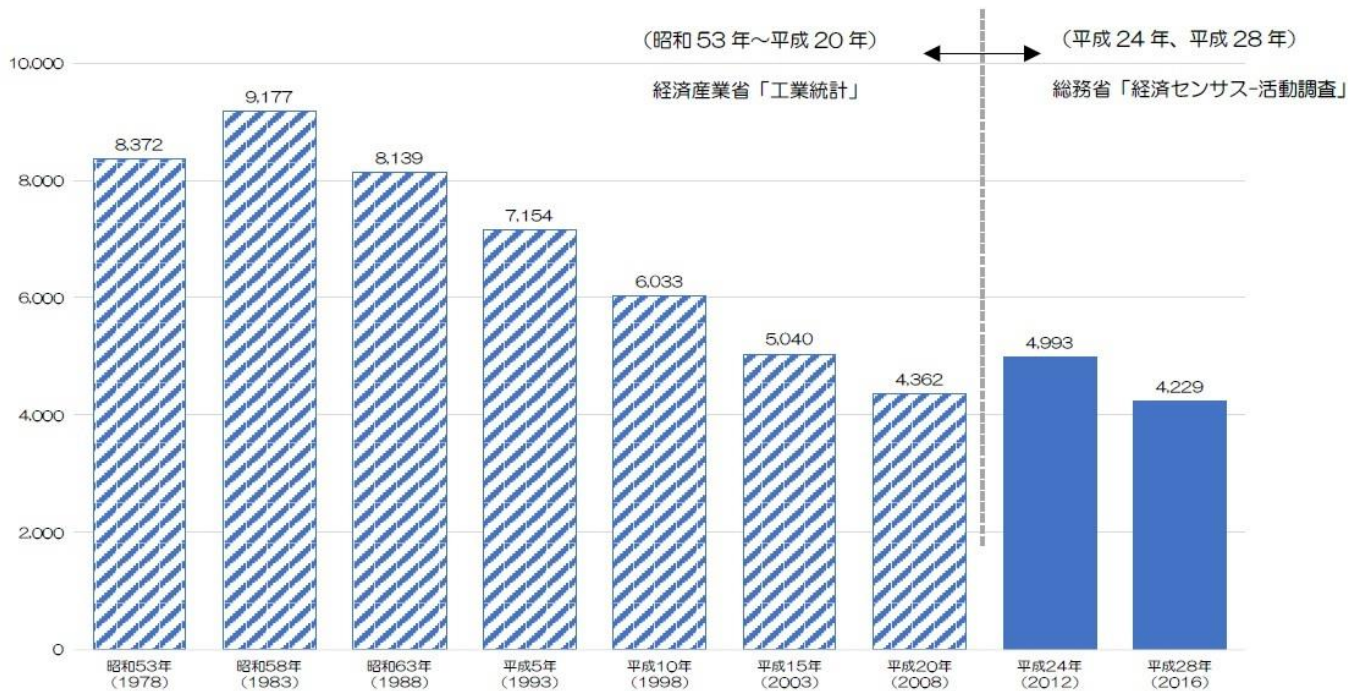
	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価規準【観点】（評価方法） ★指導上の留意点
導入	○前時の学習を振り返る ・大田区の工場は技術力が高いことが分かった。 ・東京都で、工場が一番多いことに驚いた。	★前時までには学んだことを写真等で提示する。 ★大田区の工場の魅力について書いている振り返りを選び、本時の意欲付けになるようにする。
展開	○大田区の工場の実態について把握する。 ・工場が減っている。 ・工場は苦労もあったのか。 ○大田区の取り組みについて知る。 ・オープンファクトリーという取組を初めて知った。 ・大田区が工場を増やすために頑張っていることが分かった。	★大田区内の工場数の推移のグラフを提示する。 ★実態について気付けるようにする。 ★オープンファクトリーのチラシや、資料を提示する。
	学んだことから伝える内容を考えよう。	
	○これまでの学びを振り返り、何を伝えるのか理由とともに一つ決める。 ○スクールタクトに伝えることと、理由を入力する。 ○全体で発表し、共有する。	★保護者・学校の人・お世話になった工場の人に未来づくりフェスティバルで発表することを伝え、伝える内容を焦点化させる。 ◆意欲的に問題解決に取り組み、伝える内容を決めようとしている。 【主】イ（観察・発言・発表資料） ★模造紙や吹き出しを振り返るように声掛けをする。 ★これまで学んだ工夫や努力を想起できるようにする。 ★タブレット端末に入力し、友達の考えを見えるようにし、考えを広げられるようにする。
振り返り	○本時のまとめをする。	★大田区の工場の魅力について書いている振り返りを選び、本時の意欲付けになるようにする。

9 資料

「東京都 23 区の工場数」



「大田区内の工場数の推移のグラフ」



タブレット端末の活用

伝えること	理由は・・・	どのように	ふり回り
(ここに入力できます)	(ここに入力できます)	(ここに入力できます)	(ここに入力できます)